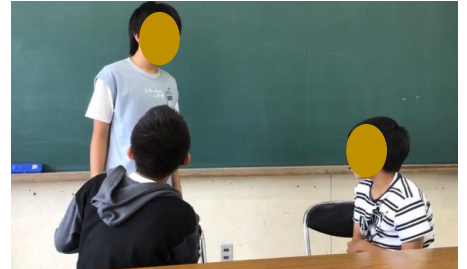




6月の生活目標

6月の生活目標は、「丁寧な言葉遣いをしよう」です。この生活目標達成に近づくために、生活委員会の皆さんが啓発動画をつくってくれました。実は前回紹介したムラサキ朝会の中で動画を流しましたが、機器の不具合で、音声流れませんでした。そこで、ロイロノートで学級ごとに見てもらおうようにしています。



動画の中では状況に応じた温かい言葉遣いについて紹介しています。

<p>場面①</p> <p>A「ぼくは〇〇というゲームが好きなんだ」 B「はあ、そんなゲームやりたくないよ、まじで」</p>	<p>A「ぼくは〇〇というゲームが好きなんだ」 B「へえ、面白そうだね。ぼくもやってみたいな。」</p>
<p>遊んでいる二人の友達を見て1人の子供が</p> <p>場面①</p> <p>C「ぼくも遊びに入れて」 A「いいよ、一緒に遊ぼう!」 B「えー、Cさんとは遊びたくない」</p>	<p>遊んでいる二人の友達を見て1人の子供が</p> <p>C「ぼくも遊びに入れて」 A「いいよ、一緒に遊ぼう!」 B「いいよ、僕も一緒に遊びたい!」</p>

子供たちは様々な人間関係の中で生きています。友達関係がうまく結べない子供もいる一方で、友達と良好な関係を結ぶ子供もいます。今回の生活委員会の動画は、人間関係に関する具体的なコツや技術について紹介しています。心理学では、このような人間関係に関する具体的な知識や技術やコツを総称して、ソーシャルスキルと呼んでいます。学校の方でも校内研修などで、先生たちも学んでいます。これから生き抜く子供たちに、是非身に付けて欲しい力の中の一つと言えます。今回の動画によって、よりよく生きるためのコツを学んだ子供もいるかもしれません。生活委員会の皆さん、動画づくりとその配信、ありがとうございました。

主体的な姿

朝7時半に交通安全の旗振りに正門を出ようとすると、ジョーロを二つ手にしながら、水やりをしている、緑化委員長の姿がありました。委員会の役割とは言え、朝早くに自分の役割の意味を考え、責任を果たそうとする姿に感心しました。帯西は、自分たちで今何をすべきかを考えながら行動できる子供たちが育ってきていると思います。特に高学年になってくるとその傾向が高くなってきます。日々の特別活動のサイクル(目標→めあて→実践→振り返り→次への意欲)が少なくとも影響していると感じています。委員長の姿に感心しながらシャッターを切ると、その後ろには、「もっとわくわく通信12号」で紹介したボランティアリーダーも偶然写っていました。主体的に動ける姿が素敵で2人でした。

